



北山小学校コミュニティ・スクールだより 「北山」に生きる

令和7年6月27日(金)

No.2

校長 宮坂 哲生

今号より、コミュニティ・スクールだよりではなく、『「北山」に生きる』とタイトルを変えました。子どもは、地域の方にとっての宝。将来に向けて、子ども達には、ふるさとに誇りを持てる人であってほしいと思います。北山の強みは豊かな自然と文化です。学校にできることは限られていますが、子ども達には、地域のなかで、教室では学べないことを五感で感じさせたいと思います。そして、「北山っていいところだな」という地域への愛着心を育てていきたいと思います。このタイトルには、そんな思いを込めています。

学校に来てみませんか？



画家「中尾彰(なかおしょう)」さんより寄贈された「勤労奉仕」という作品が、正面玄関を入った奥のスペースに展示されています。北山地区の子ども達が田で働いている様子を描いた絵で、昭和19年文部省美術展出品作品です。

中尾先生は、戦時中北山に疎開し、昭和21年2月には、当時の北山国民学校で子ども達の図画作品の指導をしていただきました。その縁で、学校に本作品を寄贈していただきました。

中尾先生は、昭和28年に蓼科高原にアトリエを建て、以後長年にわたり、一年の半分近くを蓼科で過ごしました。その中で、絵画だけでなく、絵本や教科書や紙芝居の挿絵、随筆の執筆など、数多くの製作を手がけられました。

本作品ですが、11月8日から、東京の板橋区立美術館で開催される「戦後80年 戦争と子ども達(仮)」展に展示されます。その後、福島県郡山市立美術館、新潟県新潟市立美術館を巡回します。多くの方にご覧いただき、来年の6月に北山小に帰ってきます。

ぜひこの機会に、北山小に「勤労奉仕」を見に来ませんか？じっくり見ると、確かに、北山の風景だなと感じます。併せて、中尾先生が挿絵を手がけた紙芝居や絵本、随筆なども展示してあります。ぜひ、お気軽にお立ち寄り下さい。来校の際は、職員室に一声お声がけ下さい。



第2回学校運営協議会(6/25開催) 協議内容

【音楽会の様子から】

- ・久々に音楽会を観て新鮮さを感じた。感激した。子どもが少なくなっている中で、こうして子ども達の姿を見ると「大事にそだてなくては」と改めて思う。北山は移住者が多い。子どもも親も「北山に来てよかった」と希望の持てる、いい音楽会だった。
- ・微笑ましさを感じた。子ども達が緊張しないように先生方が配慮していてよい。楽しく取り組んでいる。2年生は11名だったが、学年の魅力・味わいが感じられた。少人数だが団結力がある。それぞれ自己肯定感を高める学級ができています。
- ・先生と子どもの関係性がよくわかる音楽会だった。日常の様子が垣間見られてよかった。「音楽」は音を楽しむもの。楽しむ状況までいっている子が多かった。時間をかければもっとよくなると思うが、限られた学習時間の中でよくできていた。
- ・今までより声が大きかった。会場にきている保護者も増えた。親御さんだけでなく、地域の皆さんや一般の皆さんが参加できる工夫があるとよいと思ったが、今年は席が足りないくらいだった。この様子を地域にどう伝えるか。様子を流す工夫が必要。
- ・PTAや先生方の出演があってもよいか。

【現在の成果・課題と今後の取り組みについて】

- ・北山小美術館は素晴らしい企画。ぜひ協力したい。

- ・北山小美術館の出展作品はいつごろから地域に呼びかけるか？新作を出品したい方もいるかもしれない。いろいろな方に呼びかけてほしい。校長先生や教頭先生の作品も出してほしい。
- ・地域で醤油づくりをしている人もいる。地域との関わりに「大豆づくり」とあるので、いろいろな地域の人の声を聞いてみるのもよい。
- ・今、米不足が問題となっている。米作りの大切さを自分たちが作ることで考えさせたい。
- ・「かまんぼう」という、子ども達だけで取り組む行事がある。こうした機会も地域とのつながりとして大事にしたい。学校にかまどベンチがあるので、地域で学んだノウハウを活かしたい。コミュニティだよりで活用のアイデアを募集してみてもどうか。
- ・地域の行事を伝承していくことは大事な事。米をつくっている地域として、どうして今米不足が起こっているのか考える必要がある。消費者としての立場からだけでなく、生産者としての立場からも考える必要がある。
- ・学有林の活動はどうなっているか。運営協議会委員に区長会長が入っているので、活動する上で困っていることなどは区長会長に伝えるとよい。

【その他の意見交換】

- ・学校運営協議会は学校のあり方を考える場所。コミュニティ・スクールって何なのか、何をすべきか、この地域と協働して何をつくっていくか。北山小は通信やHPがとてもよいので、もっと発信していきたい。
- ・学校運営協議会が何を取り上げていくのか。北山小学校を卒業した子ども達が大きくなったときに、北山小でよかったと誇れる学校にしたい。子ども達の意見を聞いたり、先生方の意見を聞いたり、保護者の意見を聞いたりして、運営協議会として何か一つを取り上げ形にしていきたい。

いつもありがとう

5月12日に、民生児童委員・主任児童委員の皆様、5年生向けに普段のお仕事の内容についてお話いただきました。地域を見守り、地域の皆さんの生活を支えていること、子育ての支援をしていることなどを、子ども達にわかりやすく伝えていただきました。自分達の生活が、多くの方に支えられ、守られていることを知る大切な機会となりました。



きれいに咲くといいな



5月20日に2・3年生が、27日には5年生が、芹ヶ沢の旧インターチェンジ付近、渋川橋信号近く、湯川バイパス信号前の花壇に花植えをしました。子ども達は、1株1株大事に植えていました。7月2日には、「信州ビーナスライン輝く道づくり事業」の一環として、6年生がそれら3つの花壇の整備作業を行います。

ありがたいと思うのは、芹ヶ沢地区の皆様が、子ども達が花植えに取り組めるよう、すべてのお膳立てをしてくださったことです。大変な作業だったと思います。きっと7月には、たくさんの花が咲き誇り、地域の方やこの地を訪れた方の目を楽しませると思います。子ども達はきっと、花壇を目にした時に、「僕たち、私たちが植えたんだよ」という誇らしい思いを持つと思います。学校を飛び出し、地域のために活躍できる場を持てたこと、学校として大変にありがたく思います。

大人の本気

6月8日に、本校の校庭・体育館で、茅野市消防団北山分団の皆様が中心となって、北山ミーティングが開催されました。校庭では、ポンプ操作の選考会が行われ、全力疾走で、正確にできるだけ早く火を消そうとする姿を見せていただきました。会場を訪れた子ども達もその姿を見ていました。命を守ることは本当に大変で、その姿をとってもありがたく、子ども達も感じるものがあつたと思います。その後の体育館での様々な発表では、北山小学校のみなさんも大活躍でした。北山地区のパワーを感じました。

